

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社マツザワ					
代表者名	氏名	松 澤 徹	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	長野県下伊那郡高森町下市田3123					
主たる事業の分類	大分類	I 卸売・小売業				
	中分類	52 飲食料品卸売業				
主たる事業の概要	観光土産品の企画・卸売・小売					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	182.63	174.41	108.03		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	324.47	309.86	191.94		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂					
自動車の台数	台	5		5		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂					

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2021	年度	計画期間	2022	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

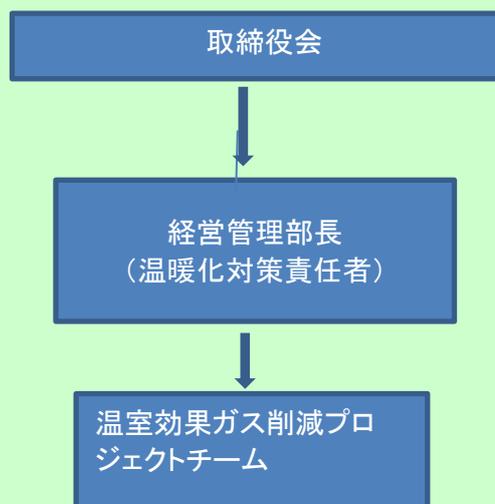
<input type="checkbox"/>	ホームページ	長野県下伊那郡高森町下市田3123 午前9時から午後5時 本社 経営管理部 0265-35-1850
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

持続可能な社会実現の為に、太陽光発電システム及び蓄電システムの導入による温室効果ガスの排出削減を行う

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

取締役会で決定した事業活動温暖化対策計画を実行するため、経営管理部長を責任者とする対策プロジェクトが発足しております。毎月の取締役をメンバーとする経営会議で、活動内容及び進捗状況を報告し、代表取締役の承認を得ております。□



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

月例経営会議において、温室効果ガス削減の実績を検討する

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	324.47	t-CO ₂	延べ床面積	56.05	単位	百m ²
2021年度	調整後排出量	324.47	t-CO ₂	基準原単位	5.79	t-CO ₂ /	百m ²
目標年度	目標排出量	309.86	t-CO ₂	目標原単位	5.53	t-CO ₂ /	百m ²
2022年度	目標削減率	4.50	%	目標削減率	4.50	%	
目標設定に関する説明	排出量と原単位を4.5%削減する						
第一年度	排出量	191.94	t-CO ₂	延べ床面積	56.05	単位	百m ²
	削減率	40.84	%	原単位	3.42	t-CO ₂ /	百m ²
2022年度	調整後排出量	191.94	t-CO ₂	原単位削減率	40.93	%	
	削減率	40.84	%				
排出量等の増減理由	当社は観光業に立脚しており、コロナ禍の影響をまともに受け、操業の停止など企業活動が大きく減少しました。従いまして、2022年度は意図せず、大幅な排出量の減少となりました。						
第二年度	排出量		t-CO ₂	延べ床面積		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	延べ床面積		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	130101	設定温度、湿度の適正化	2022			
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	k w	0	49	49		

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	2	324.47	2	191.94				
合計	2	324.47	2	191.94				

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	5	5		
合計	5	5	0	0
自動車総数	5	5		
次世代車導入割合	100	100		

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	以前は取引先との商談に自動車を利用していたが、安全面も考慮し、できる限り公共の交通機関を使用するように推奨している
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	来客者にはできる限りWEBミーティングをお願いしている
物流の合理化	経費削減の意味合いもあり、運送業者の選定において混載便の利用を推奨している、店舗配送においても、配送の頻度を減らしている

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	環境に配慮した、過剰包装廃止や商品パッケージの脱プラスチック化を商品企画の中心とし、商品の開発を推進しています。		2022

1.5 自由記載欄

自動車の運転時については、エコ運転に心がけることを安全運転管理者を通じて全社員に教育しています。